

## ワールドワイドな図書館マーケティング： 変動する市場と時代

ニック・エヴァンズ  
最高執行責任者、ALPSP

2010年2月 東京

1

## 本日の講演内容

- ALPSPについて (とても手短かに!)
- ジャーナル市場
- 何が変化しているのか
- 不況に対応する
- 新しい試み
- オープンアクセス

2

## ALPSP

非営利の出版者と関連団体のための事業者団体

2010年初頭の時点で、会員機関数は358

- 国際化が進んでいる – 現在、33カ国が参加
- 多様な会員: 大中小それぞれの規模の出版者(例. 英国物理学会、モナッシュ大学電子出版局、Unibio Press、オックスフォード大学出版局)
- 二つの会員タイプ: 出版者は「正規会員」、商業出版社を含む代理店は「賛助会員」
- ALPSP 会員は、約1万 のジャーナルと、多数の書籍、データベース、その他の学術刊行物を出版している

3

## 市場の規模

- 2008年のSTM分野の出版物による年間収益は、80億ドル
- 全世界で、11万人が雇用されている
- ジャーナル出版者は、全世界で2,000
- ALPSPを含む主要な事業者団体には、657の出版者が加入しており、1万1,550のジャーナルが刊行されている(ジャーナル総タイトル数のおよそ50%)
- これらのうち、477の出版者(73%)が非営利である
- 出典: *The STM report: an overview of scientific and scholarly journals publishing* by Mark Ware and Michael Mabe, Sept 2009

4

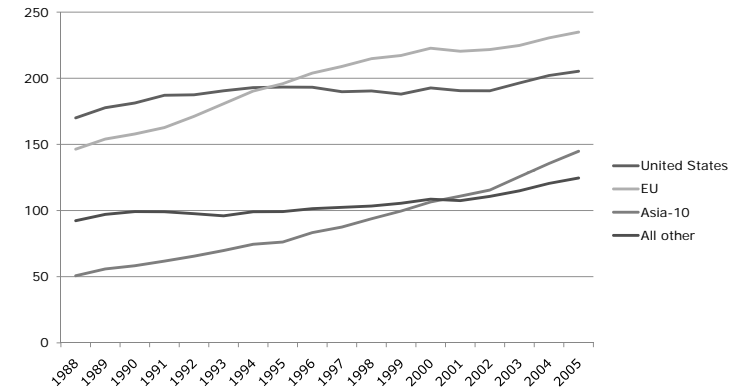
## 国際的な分布 – 科学論文の出版数

- 米国 – 29%
- 日本 – 8%
- 英国 – 6%
- ドイツ – 6%
- 中国 – 6%

全世界のジャーナル掲載論文の55%を上記5カ国が占め、  
90%を23カ国が占める

5

## 急成長する市場



6

S&E article output, by major S&E publishing region/country: 1988-2005 (Science and Engineering Indicators 2008)

## 何が変わっているのか

- 市場の動向
- 利用者の行動
- ビジネスモデル
- 製品
- 利用者
- 団体
- テクノロジー

7

## 変動する市場

- 競争の激しい業界 – 中小団体にはきびしい
- 出版社の合併や買収
- 刊行されているジャーナルの50%を、10の出版社が占める
- 学協会出版者のロングテール
- 図書館予算は頭打ち、あるいは減額 (2010年には、5-25%の削減か?)
- しかし . . .

8

## 不況に対応する

- 質にこだわる
- セグメント化、統合
- 利用を最大にする – 利用者に直接はたらきかけ、図書館、購読者、各地域に一貫したメッセージを発信する
- 新市場向けにコンテンツの新パッケージを設定する(例バイオテクノロジー分野、発展途上国など既存のマーケットを新たにセグメント化して直接販売する)

9

## 市場の動向

- 技術の最先端にあるオンラインジャーナル; 科学・技術・医学分野のジャーナルの96%と人文・社会科学分野のジャーナルの87%が電子版でアクセス可能
  - データマイニング; テキストにリンクした出版単位としてのデータセット
  - セマンティック・ウェブ(化学と分子生物学分野)
  - 研究文献からの知識の自動抽出法の促進

10

## The (semantic) Biochemical Journal

“PDFは、科学的知識の適当で効率的な利用を妨げる。情報を統計表や、無関係なジャーナル掲載論文のなかに埋め込むことで、科学者は何時間も無駄にしている。すでになされているのを知らなかった実験を繰り返したり、もっと悪い場合には、誤りだと証明されているのを知らなかった事実を立証しようとしたりしているのだ。”

Terri Attwood 教授、マンチェスター大学

11

BIOCHEMICAL JOURNAL

• About • Subscribe •

### BJ Central

SEMANTIC  
**BJ Bringing Life Sciences to Life** www.BiochemJ.org

A new dimension in scientific publishing has arrived

What is all the fuss about?

Portland Press Limited and the University of Manchester are proud to present The *Semantic Biochemical Journal*, powered by Utopia Doc.

Utopia Documents offers a completely new way of reading PDF files.

Once you have downloaded and installed [Utopia Documents](#), open any PDF in the current issue, and watch it come to life.

A user guide is available [here](#), and there are further FAQs below.

This is just the beginning. Come back soon and see what else you can do with all those flat, boring PDFs...

Why did we embark on the *Semantic Biochemical Journal* experiment?

With researchers drowning in a sea of data and knowledge highly fragmented across huge databases and millions of journal articles, p ways to unlock this information.

[‘Calling International Rescue: knowledge lost in literature and data landslides!’](#) explains why the University of Manchester and Portland Pr experiment and invites you to take part.

Why is using the term lookup feature in Utopia Documents any different to using, say, Google or a specific database?

First, Utopia Documents searches numerous appropriate databases for definitions and records, so it's rather more convenient than having to search manually. Second, even though the software searches some quite generic sources (such as Wikipedia: DBpedia) for information, these searches mean that only results relevant to biochemistry and molecular and cell biology are returned.

Editorial Board

Chair  
[PR.Shepherd](#) - Auckland

Vice Chair, The Americas  
[G.Salvesen](#) - La Jolla, CA

Vice Chair, Asia-Pacific  
[T.Ku](#) - Beijing

Vice Chair, Europe  
[DR.Alessi](#) - Dundee

Vice Chair, Reviews  
[A.Toker](#) - Boston, MA

Deputy Chairs  
[M.Blatt](#) - Glasgow  
[I.Gondvear](#) - Roston, MA  
[SV.Graham](#) - Glasgow  
[R.Hoekstra](#) - Groningen  
[S.Huber](#) - Urbana, IL  
[J.Ladbury](#) - Houston, TX  
[M.Lemmon](#) - Philadelphia, PA  
[C.Mackintosh](#) - Dundee  
[KH.Mayo](#) - Minneapolis, MN  
[M.Murphy](#) - Cambridge  
[S.Roberts](#) - Buffalo, NY  
[M.Schwartz](#) - Charlottesville, VA  
[D.Toth](#) - Bath  
[B.Vanhaesebroeck](#) - London  
[HM.Wallace](#) - Aberdeen

» [Full Editorial Board](#)  
» [Editorial Advisory Panel](#)

## 図書館を変える：図書館コレクションの未来とは？

Jane Harvell、サセックス大学図書館Research Services and Special Collections部長、2009年11月の ロンドンでのALPSP seminar における講演より:

- 共有所蔵という一つの未来のかたち？
- オープンアクセスと無料コンテンツは増えてゆく
- 出版基盤についての継続的な研究(と教育)
- 授業支援を行うにあたって柔軟な姿勢をもつ
- オンライン上の公開に、より適した体裁のコンテンツ – 現在は、研究者中心ではない (<http://www.deepdyve.com/>)
- 国境を越えたカバレッジ/コレクション
- アーカイブと専門的コレクションが、他の図書館との違いを生み出すブランドとなる

13

## オープンアクセス

- 完全なオープンアクセス (“ゴールド”) – 最新版(組版済み)を、即座に無料公開する
- 猶予期間のあるオープンアクセス – 最新版(組版済み)を、時期をおいて無料公開する
- セルフアーカイブ (“グリーン”) – 採択時の査読済み論文原稿を無料公開。即座に公開される場合と、猶予期間をもつ場合がある。

15

## 完全なオープンアクセス

- 即時型完全オープンアクセス: ジャーナルのコンテンツは、即座に無料公開される (例えば PLoS)
- ハイブリット型オープンアクセス: 一部の掲載論文が、即座に無料公開される

16

## 機関リポジトリ

- 急速に増加している – Eprintsのプロジェクトで1,300の機関リポジトリがリストアップされ、そのうち 713 が機関または部門レベルの研究リポジトリ
- Eprintsがリストアップした掲載論文は、約320万編、平均して一機関あたり4,500編

17

## 主題リポジトリ

- arXiv (1991) – 電子プリント 53万編
- RePEc – 研究成果報告書 28万5,000編、ジャーナル掲載論文 430編
- PubMed Central – 研究論文 130万編、そのうちオープンアクセス論文は、13万6,000編

18

## 財政的支援の無しの運営

”リポジトリは、ジャーナルがもつ査読体制を目的に、現行のジャーナルに寄生している”

Ian Russell、ALPSP代表 – 2009

詳しくは以下を参照

<http://www.timeshighereducation.co.uk/story.asp?storycode=409057>

19

## 学術出版円卓会議(米国)

- 米国下院科学技術委員会 ([www.aau.edu](http://www.aau.edu))
- 米国大統領府科学技術政策局 (OSTP: White House Office of Science and Technology Policy )
  - 学術機関 – 学術機関責任者(3)
  - 学術図書館 – 図書館司書(3)
  - 出版者 – 商業出版(1)、学協会(2)、新オープンアクセス立上げ(1)
  - 図書館情報学専門家(3)

20

## 一般原則

- 論文の質と編集倫理を維持するために、査読を継続しなければならない。
- 変化する環境でも事業を継続するため、柔軟なビジネスモデルが必要である。
- 学術・科学出版物は、利用の機能性を高め、研究コミュニティだけでなく広く一般市民にも利用できるものとし、また、そのようなものとするべきである。
- 持続的アーカイビングと保存は、信頼性の高い公開方法には不可欠である。
- 研究結果を公開・維持し、創造的な利用や主催サイト間の相互運用の可能性をできるだけ広げる必要がある。

21

## 円卓会議提言

- 各助成機関はパブリックアクセス方針の立案にあたり、OSTPおよびすべての関係者と十分かつ開かれた協議を行う。
- 各助成機関は、論文出版後パブリックアクセスまでのエンバゴを明確にする。
- 方針は相互運営を促進する必要性に沿ったものとする。
- フリーアクセスに供する論文は、できるだけ出版用レコード(VoR: version of record)とする。
- 政府機関は、非政府機関の関係者と自主的に協力し、パブリックアクセス方針の対象を拡大する。
- 方針は、研究のイノベーションと学術出版物の教育的利用を促すものとする。
- 政府のパブリックアクセス方針は、長期デジタル保存の問題を解決する必要に対応するものとする。
- OSTPはパブリックアクセス諮問委員会を設立する。

22

## 学協会出版者協会(ALPSP)による OSTP パブリックアクセス方針協議に対する意見提出 (www.alpsp.org)

出版社が価値を付加した学術論文の各バージョンについて、フリーアクセスに供するか否か、また、供するのであればその時期については、出版社の決定に帰すべきである。この決定は、様々な研究分野のニーズによって大きく異なるものである。

23

## ALPSP: OSTPへの意見要旨

- 出版社は自社のビジネスモデルを制約されない自由を保証され、民間組織が付加した価値を政府に取り上げられてはならないと信ずる。
- 査読した論文の研究者および一般市民による利用について、需要の程度および目的を把握するため調査をさらに行い、適切で費用対効果の高い対応方法を探るべきだと考える。
- 米国は、欧州のPEER計画のような、関係者の参加に基づく大規模な連携研究を行い、この分野におけるOSTPの方針の根拠となる情報・データを収集することを提案する。
- 学術雑誌の論文査読制度は研究の効率化に大きく貢献している。米国の連邦機関は出版社と協力し、この付加価値を生み出す出版社の特性を損なわないよう適切なパブリックアクセス方針を策定することを提案する。
- 出版社が価値を付加した学術論文の各バージョンについて、フリーアクセスに供するか否か、また、供するのであればその時期については、出版社の決定に帰すべきである。この決定は、様々な研究分野のニーズによって大きく異なる。

24



## 新しい団体

- コンテンツに関係する新たな競争者 (グーグル、ウィキペディア 機関リポジトリ)
- コンテンツの収益化と配信の新しい方法
  - [DeepDyve](#) - 論文レンタル
  - [PubGet](#) - 購読済みタイトルの論文PDFへ直接アクセス
  - [Mendeley](#) - 研究論文管理のためのデスクトップツール
- 出版者にとって、競争がより激しくなっている (著者、購読者、学協会)

ということは...

## つまりどういうことか

- これらの市場の変化を理解する
- 自身のビジネスに対して起こり得る影響を理解する
- 会社とジャーナルの知名度を維持する

ということが、これまで以上に重要である...

ありがとうございました



Nick Evans  
*Chief Operating Officer*  
**Association of Learned and Professional Society Publishers (ALPSP)**  
9 Stanbridge Road, Putney, London, SW15 1DX, UK  
Tel: +44(0)208 789 2394; Mobile: +44(0)7793 559992  
Email: [nick.evans@alpsp.org](mailto:nick.evans@alpsp.org)  
Web: [www.alpsp.org](http://www.alpsp.org)